

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年11月19日～11月25日)

平成 27 年(2015 年)11 月 27 日

H E A D L I N E S

政治

憲法法院判事の人事を巡る修正法案が成立
EU戦略オペレーション指令センターの開設
中曽根参議院議員がポーランドを訪問
ドゥダ大統領、ガウク独大統領と共同メッセージを発出
シドゥウオ首相、欧州難民問題につき発言
ドゥダ大統領、中国を訪問

経済

新開発大臣へのインタビュー
10月の鉱工業生産は対前年同月比2.2%
10月の失業率は9.6%
Google「CAMPUS WARSAW」をオープン
アジアの観光客が増加
LOTは2015年収益ゼロ
ポーランド人の省エネ・省資源意識－環境省調査
新国有財産大臣へのインタビュー
PGNiG社、パキスタンでガス採掘を開始

大使館からのお知らせ

領事アンケートへの御協力について
ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
大使館広報文化センターの開館時間について
東日本大震災義捐金受付について
文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

憲法法廷判事の人事を巡る修正法案が成立【19日・20日】

19日及び20日、本年11月及び12月に任期が終了する計5名の憲法法廷判事の人事を新たに行うことを可能とする「法と正義」(PiS)主導の修正法案が下院及び上院で可決され、20日ドゥダ大統領が同法案に署名を行った。憲法法廷判事の人事を巡っては、5名の判事の任期が政権交代の時期の前後

に終了することから、前政権与党のイニシアティブで本年6月に関連法案を修正し、10月に下院が5名の新しい判事を選出していた。本件を巡っては、今回の修正法案のスピード採決の手法等も含め、与野党間で相互批判が繰り返されている。なお、25日、下院は本年10月の5名の判事選出が無効であるとの決議を採択した。

外交・安全保障

EU戦略オペレーション指令センターの開設【19日】

18日、クラクフにおいてEU戦略オペレーション指令センターが開催され、来年1月から始動するポーランド、チェコ、スロバキア及びハンガリーで構成されるV4戦闘グループのために、今後6ヶ月の間機能する。V4戦闘グループは、人道支援及び平和維持活動に従事することとなっている。

中曽根参議院議員がポーランドを訪問【19日～22日】

19日～22日、中曽根弘文参議院議員(元外務大臣、参議院日・ポーランド友好議連会長)が両国間議員交流促進等のためポーランドを訪問し、カルチェフスキ上院議長、ヴァシチコフスキ外務大臣、バンカ・スポーツ・観光大臣、シュテルスキ大統領府國務次官等と会談を行い、二国間政治・経済・文化関係、欧州及びアジアの地域情勢等につき意見交換した。

ドゥダ大統領、ガウク独大統領と共同メッセージを発出【22日】

22日、ドゥダ大統領及びガウク独大統領は、ポーランドとドイツの和解のきっかけとなったポーランド人神父とドイツ人神父による許しと和解のメッセージの交換から50年が経過したことを受けて共同メッセージを発出し、この聖職者間の対話が勇気と知恵に基

づく賢明な行動であったと賞賛した。

シドゥウォ首相、欧州難民問題につき発言【24日】

24日、シドゥウォ首相は、閣議後の記者会見にて、ポーランドは難民受け入れに関して前政権が同意した義務を果たすことができない、パリ連続テロ事件を受け欧州諸国は情勢評価を変えている、ポーランドはEUの合意決定に拘束されるが、本件につき議論したい旨述べた。シドゥウォ首相は、29日にブリュッセルにて開催予定の臨時 EU・トルコ首脳会合に出席予定。

ドゥダ大統領、中国を訪問【23日～26日】

23日～26日、ドゥダ大統領が中国を訪問し、習近平国家主席及び李克強首相と個別会談を行うと共に、第4回中欧・中国(16+1)首脳会合に出席した。25日に行われた習近平国家主席との会談では、二国間関係、中国の「一帯一路」イニシアティブ、テロリズム、安全保障、国際情勢等につき意見交換が行われた。ドゥダ大統領は、2011年に締結されたポーランドと中国の戦略的パートナーシップが継続することを強く期待している旨述べた。また、24日の第4回中欧・中国(16+1)首脳会合では主に地域間の経済協力につき議論され、李克強中国首相は中国企業が中欧地域に50億ドル規模の投資を行いたいと考えていることを表明した。

経 済

経済・財政政策

新開発大臣へのインタビュー【23日】

モラヴィエツキ開発大臣はメディアのインタビューの中で、付加価値税(VAT)の税率を2、3年の間に100－200億ズロチ増やす事は現実的であると述べ、政府がVAT制度の抜け道を塞ぐようにすれば、財政への大きな負担を与えることなく、新たな規制等

を導入できるだろうとの認識を示した。他方、財政支出急増の可能性を懸念する声があることについては、かなり誇張されたものだとして述べた。また、財政赤字に関し、前政権の掲げたGDPの2.8%以下という目標については、長期的に見れば下がって行くだろうとの見通しを示した。

マクロ経済動向・統計

10月の鉱工業生産は対前年同月比2.2%【19日】

中央統計局(GUS)によれば、10月の鉱工業生産は対前年同月比2.2%で、先月の対前年同月比4.1%から減少。今後3.0%程度まで上がるというのがエコノミストの見方。

10月の失業率は9.6%【25日】

中央統計局(GUS)によれば、10月の失業率は9月の9.7%をわずかに下回る9.6%。失業者数は1,516,900人。

ポーランド産業動向

Google「CAMPUS WARSAW」をオープン【23日】

Googleは若手起業家向け支援施設 Campus Warsaw を23日よりオープンした。中東欧で初めて、かつ世界で5番目となる。既に35か国1,400人が参加登録をしているという。

アジアの観光客が増加【23日】

ポーランド観光局(POT)によれば、2014年に中国・日本・インドからポーランドを訪れた観光客は12万人で、特に中国人観光客は2015年1月～8月で対前年同期比+22%と伸びが顕著。POTは2013年から「I like Poland」キャンペーンを実施中であり、25日に北京に支部をオープン予定。日本とインドの

観光客については、2011年～2014年の3年間でそれぞれ約30%、60%増。

LOTは2015年収益ゼロ【24日】

フライト縮減、販売・リースのコスト増、拡大に伴うコスト増等により、2015年のポーランド航空(LOT)の収益はゼロとなる旨、ツェレイエフスキCEO代行が発言。東京とソウル直行便開設を含む業務拡大に伴う投資コストや、リース料に伴うコスト増に伴うもの。2014年にはミコシュCEOの下で2007年以来の収益増を計上しており、当時は2015年も収益を見込んでいた。

エネルギー・環境

ポーランド人の省エネ・省資源意識－環境省調査【23日】

環境省の行った調査によると、70%以上のポーランド人が節水にこころがけ、57%のポーランド人が車よりも公共交通機関や自転車による移動を選択していると回答しているという。また、省エネ型の家電製品(電球、冷蔵庫、食器洗濯機)の購入(40%)や部屋を出るときに消灯すること等を行う回答(67%)も多かった。

新国有財産大臣へのインタビュー【23日】

ヤツキエヴィチ国有財産大臣はメディアのインタビューの中で、政府は炭鉱の買収に関しいくつかのオプションを考えていること、また、炭鉱業のコスト削減

を計画していると述べた。大臣は従業員へしわ寄せなく過度なコストを削減しつつ買収が行われると強調した。また、国内全てのエネルギー資産はエネルギー省が管理することについても触れたほか、国有企業の株式の買い戻し等については予算次第であるものの、いくつかの企業では可能であると述べた。

PGNiG社、パキスタンでガス採掘を開始【24日】

国有ガス企業PGNiG社は、パキスタンでのガス採掘を開始することを発表した。同社は2005年より調査を行っており、RehmanとRizqの2つのガス床を開発した。採掘はパキスタン企業と共同で行われ、PGNiG側が70%の権益を有する。

大使館からのお知らせ

領事アンケートへの御協力について

当館では、在留邦人の皆様から当館の領事サービスに対するご意見、ご要望等をお伺いし、領事サービスの向上・改善に取り組んで参りたいと思います。

お忙しい中恐縮ですが、下記リンクより、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryouji_anketo20151106.html

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事**【開催中】展覧会「浮世絵との対話」【9月20日(日)～1月3日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の浮世絵展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

【開催中】展覧会:「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

【開催中】ポーランドにおける日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html

【開催中】展示会「日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量」【10月17日(土)～12月31日(木)】

グリヴィツェ市にて、グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、茶道具、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: シロンスク県, グリヴィツェ市, ul. Dolnych Wałów 8a

詳細: <http://www.muzeum.gliwice.pl/>

【予定】「Manggha」祭り【11月29日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、「Manggha 祭り」が予定されています。着物ワークショップ、茶道デモンストレーション、浅井微芳氏による「筆舞」などが開催されます。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/event-item/49>

【開催中】陶器展【11月17日(火)～30日(月)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、陶芸家協会「ケラモス」による花器の陶器展が開催中です。入場無料。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】「日本からのインスピレーション」 墨絵・紙人形・油彩展【12月2日(水)～1月15日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、日本からインスピレーションを受けたポーランド人アーティストによる墨絵・紙人形・油彩展が開催されます。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

【予定】国際現代デッサン・フェスティバル「Think Tank lab Triennale」【12月3日(木)～1月3日(日)】

ヴロツワフ市にて、ヴロツワフ市美術大学主催による国際現代デッサン・フェスティバル『Think Tank lab Triennale』が開催されます。日本とポーランドの現代アーティストによる「Two Sticks」展が予定されています。

開催場所：ドルヌィ・シロンスク県，ヴロツワフ市，pl. Polski 3/4

詳細：<http://ttt.wroclaw.pl/en>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp（ご連絡は電子メールでお願いします。）